



CATEYE[®] CYCLOCOMPUTER

CC-HB100

心拍数計測機能付サイクロコンピュータ
取扱説明書



はじめに

このたびはCATEYE CC-HB100をお買い上げいただき、ありがとうございます。本器は通常のサイクロコンピュータの機能に加え、チェストベルト心拍センサーで走行中の心拍数をモニターしながら、安全で科学的なトレーニングを実践していただくために作られたサイクロコンピュータです。自転車での使用を主目的とし、身体に装着した心拍センサーの信号送受信にダブルパルス方式を採用することで、衝撃や外部ノイズによる干渉を受けにくく、実使用においてストレスのない計測を実現しています。また自転車から外して心拍計としてもお使い頂けます、次のような特長を持ちます。

心拍数計測の機能

- ・ チェストベルト心拍センサー装着時に、リアルタイムで心拍数を計測します。
- ・ 上限 / 下限心拍数が設定でき、アラーム機能によりその数値から外れたときにアラームマークの点滅で知らせます。心拍数のターゲットゾーントレーニングが行なえます。
- ・ 走行時間と連動し、走行中の平均心拍数が計測できます。
- ・ 走行中の心拍数計測値から推定される、消費カロリーを計算し、積算値で表示します。

サイクロコンピュータの機能

走行速度、最高速度、平均速度、積算距離、走行距離、走行時間、時刻の計測とオートスタート / ストップ機能

使用の前にこの説明書を最後まで良くお読みいただき、本器の機能を十分ご理解の上、末永くご愛用ください。またこの説明書は後々お役に立ちますので保証書と共に大切に保管願います。

目次

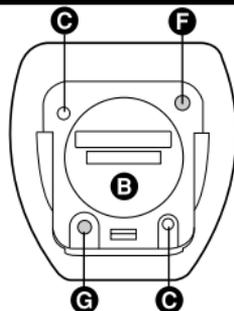
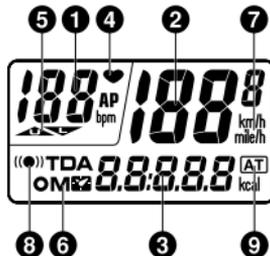
各部の名称と部品	4
正しくご使用いただくために(必ずお読みください)	5
ボタンの働き	6
サイクロコンピュータの使い方	
1. メインユニットの準備	7
2. 自転車への取付け	8
3. オートモード機能	9
4. 節電機能	9
心拍数計測機能の使い方	
1. チェストベルト心拍センサーとは	10
2. チェストベルト心拍センサーを装着する前に	10
3. チェストベルト心拍センサーの装着	10
4. 上限 / 下限心拍数は次の手順で設定します	11
計測と表示の機能	11
心拍数管理によるトレーニング	13
トラブルと処理	14
電池の交換	
1. メインユニット	16
2. 心拍センサー	16
電極ベルトの交換	17
交換部品 / オプション部品	17
製品仕様	18
保証規定	19
タイヤ周長ガイド	19

各部の名称と部品

メインユニット

A ディスプレー

1. 心拍ディスプレイ
2. 速度ディスプレイ
3. サブディスプレイ
4. 心拍信号マーク
5. 上限 / 下限アラームマーク
6. モードマーク
7. 速度単位
8. 速度信号マーク
9. オートモードマーク



B バッテリーカバー

C 接点

D モードボタン

E スタート / ストップボタン

F ACボタン

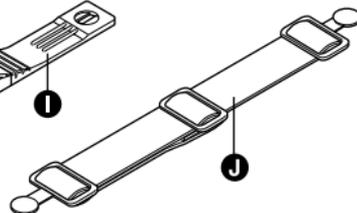
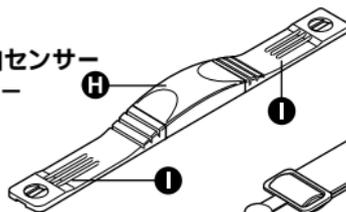
G SETボタン

チェストベルト心拍センサー

H トランスミッター

I 電極ベルト

J 装着ベルト



付属品

K ブラケット

L コード

M 速度センサー

N センサーバンドA (L)(S)

O センサーバンドB

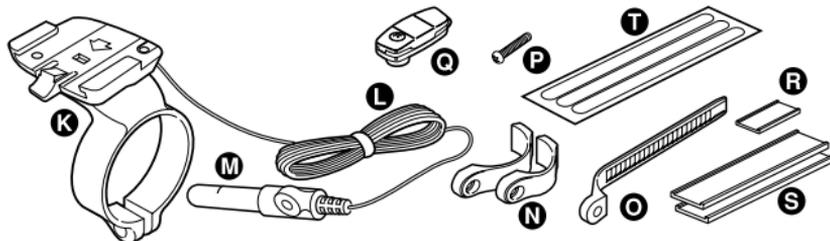
P センサーネジ

Q マグネット

R センサー用ゴムパッド

S ブラケット用ゴムパッド(2枚)

T コード止めテープ



正しくご使用いただくために（必ずお読みください）

本器を安全に、末永くお使いいただくために次の点を守ってご使用ください。

- 注意：
- ・ ペースメーカーをご使用の方は絶対にご使用にならないでください。
 - ・ 飛行機内でのご使用はお避けください。
 - ・ 走行中はデータに気を取られないで、安全走行を心掛けましょう。

チェストベルト心拍センサー

- ・ 次のような強い電磁波を発するものの近くや場所では干渉を受け、正しく計測できません。
 1. テレビ、ラジオ、モーター等の近くや、自動車、鉄道車両内。
 2. 踏切や線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地等。
- ・ メインユニットから半径1.5m以内に複数のトランスミッターを近付けないでください。また他のコードレス機器との併用も避けてください。正しい計測ができません。
- ・ チェストベルトで皮膚がかぶれる等の異常がある場合は、使用を中止してください。
- ・ メインユニットやトランスミッターは落としたり、強い衝撃を与えないよう注意してください。
- ・ チェストベルトは汗等で特に汚れますので、中性洗剤で洗浄し清潔を保ってください。
- ・ 電極ベルトは無理に折曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ・ 電極ベルトは消耗品です。長期間の使用で劣化し、計測ミスが発生します。頻繁に計測ミスが繰り返したら電極ベルトを交換してください。

メインユニット

- ・ 炎天下の放置は避けてください。またメインユニットは分解しないでください。
- ・ マグネットと速度センサーの位置を定期的に点検しましょう。
- ・ 自転車から外して心拍計として使用するときは、オートモードを解除して右ボタンの操作で計測のスタート / ストップを行なってください。
- ・ 本体とボタンの隙間に泥や砂等がつかると、ボタンが動きにくくなる場合があります。水で軽く洗い流します。
- ・ メインユニットやブラケットの接点が濡れた場合、放置しないで良く水分を拭き取ってください。サビが発生した場合、速度検出不良の原因となります。
- ・ メインユニットや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いたあと、空拭きします。シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使わないでください。

ボタンの動き

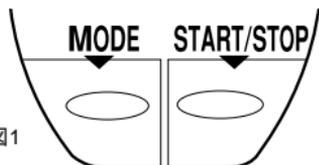


図1

左ボタン

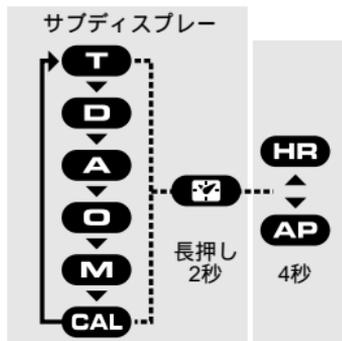


図2

心拍ディスプレイ

T	-----	走行時間
D	-----	走行距離
A	-----	平均速度
O	-----	積算距離
M	-----	最高速度
CAL	-----	消費カロリー
	-----	時計
HR	-----	心拍数
AP	-----	平均心拍数

左ボタン（モードボタン）

サブディスプレイの表示データを図2の順序で切り替えます。

- * 約2秒押し続けると、表示に変わります。さらに押し続ける(4秒以上)と、心拍ディスプレイの心拍数が平均心拍数APに変わります。(心拍ディスプレイが平均心拍数APの時は心拍数表示に戻ります)

右ボタン（スタート/ストップボタン）

- ・ 走行距離 (D)、走行時間 (T)、平均速度 (A)、平均心拍数 (AP)、消費カロリー (CAL) の計測をスタートまたはストップします。ボタンを押す毎に計測をスタート、ストップし、計測中は速度単位が点滅します。
- * マークが表示している時、このボタンは機能しません。(オートモード機能:9ページ参照)

SET ボタン（裏面）

- ・ オートモードのオン / オフ ----- T,D,A表示で押す。
- ・ タイヤ周長の変更 ----- O表示のストップ状態で押す。
- ・ 時刻合わせ ----- 表示のストップ状態で押す。
- ・ 上限 / 下限心拍数の入力 ----- M表示のストップ状態で押す。

AC ボタン（裏面）

このボタンを押すと全ての記憶が消去します。電池を交換した時や異常表示になった時以外は押さないでください。初期状態に戻るので、メインユニットの準備(7ページ)に従い再セットが必要です。

リセット操作

左右のボタンを同時に押すと、走行距離、走行時間、平均速度、最高速度、平均心拍数、消費カロリーのデータをゼロに戻します。

- * O表示の時この操作を行なうと、リセットではなく、現在セットしているタイヤ周長が確認できます。

サイクロコンピュータの使い方



図3

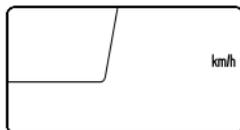


図4



図5



図6

1. メインユニットの準備

使用する前に次の準備が必要です。

-1. まずタイヤ周長を求めてください

自転車のタイヤ周長を実測して求めます(図3)。タイヤ接地面にペンキ等で印を付けて転がし、路面についた印の間隔を測って求めてください。簡易的にタイヤ周長ガイド(19ページ参照)で自転車のタイヤサイズから周長mm(L)を知ることでもできます。

-2. 速度単位をセットします

ACボタンを押すと画面は一旦全点灯し、(図4)のように"km/h"が点灯します。右ボタンを押すと"km/h"と"mile/h"が切り替わります。希望の速度単位を選び、SETボタンを押し設定します。

-3. タイヤ周長をセットします

あらかじめ"2155mm"(27インチタイヤの標準的周長)がセットされています(図5)。2155mmの周長をそのまま用いるときは、SETボタンを押します。周長2155mmが設定されます。変更したい時は、タイヤ周長が点滅している状態で右ボタンを押すと数字が+します。左ボタンを押すと-します。ボタンは押し続けると早送りします。求めた周長の数字を表示させます。SETボタンを押して設定を終了します。

-4. 途中でタイヤ周長を変更できます

積算距離O表示でストップ状態にし、SETボタンを押すとタイヤ周長を変更できます。3.の要領で設定をやり直します。

時計の時刻合わせ

左ボタンを約2秒押し、**5:23**表示にします。右ボタンでストップ状態にしてSETボタンを押します。(図6)右ボタンを押す毎に点滅している「時」が+1します。押し続けると早送りします。左ボタンを押すと「分」が点滅するので、右ボタンで「分」を合わせます。このとき現在時刻の1分先の「分」を表示させます。表示した時刻の時報に合わせてSETボタンを押すと、正確な時刻のセットが完了します。

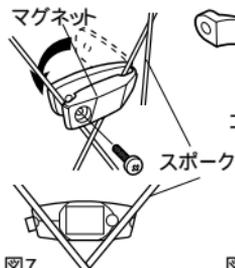


図7

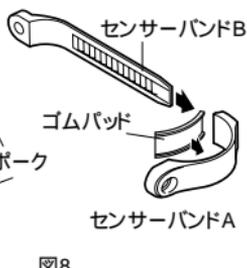


図8



図9

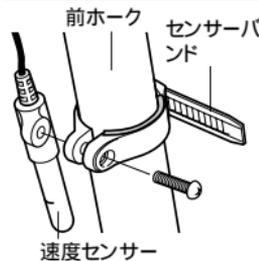


図10

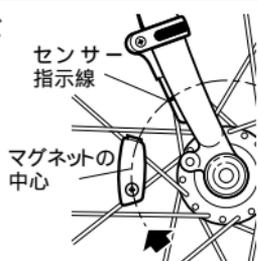


図11



図12

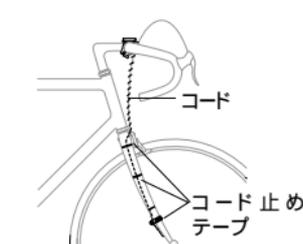


図13

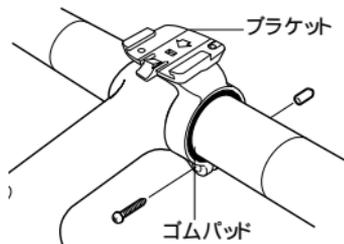


図14

2. 自転車への取付

- マグネットを前輪右側のスポークを挟んで取付けます。この時スポークを(図7)のように通して取付けます。
- 右側前ホークに次の手順でセンサーバンドABを使い、速度センサーを取付けます。センサーバンドAは速度センサー取付位置のホークの直径(24 まではS、それ以上はL)により選択します。

1. (図8)のようにセンサーバンドAの穴にセンサーバンドBの先端を差し込み、ゴムパッドをセンサーバンドAに添わせませす。ホークにはめたときに、ネジ締め部がほぼ平行になるように長さを調整します。(図9)

*センサーバンドA、Bは強く引っ張ると抜くことができます。

2. ホークに長さ調整したセンサーバンドをはめ、速度センサーと共にネジで仮止めします。(図10)

3. マグネットの中心とセンサー指示線を合わせます(図11)、マグネットとの隙間を2mm前後に速度センサーの位置を調整してから(図12)ネジを締め込み、速度センサーをしっかりと固定します。はみ出したセンサーバンドBはニッパー等でカットします。

- コード止めテープで(図13)のようにコードを固定します。アウターケーブルに巻き付けて、ハンドルまで配線します。コードの長さをこの段階で調整します。ハンドルを回したときに、コードが引っ張られないよう注意します。
- ブラケットにゴムパッドをはめ、ハンドルステムの近くを取付けます。(図14)

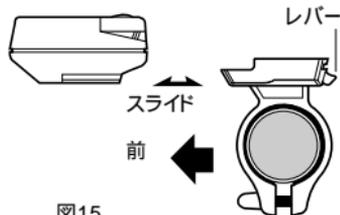


図15

メインユニットの装着

メインユニットはブラケット前方より、スライドしてはめ込みます。カチッと音がするまで確実に差し込みます。接点は自動的に接続します。外す時はブラケットのレバーを押しながら、前方に引き抜きます。(図15)

テスト

メインユニットをブラケットに装着します。前輪を浮かせてタイヤを回し、「●」マークが点滅するか確認します。点滅しない時は、マグネットと速度センサーの位置をチェックし、調整をやり直します。

以上で取付けは完了し使用できます。

3. オートモード機能

画面に [AT] マークを表示させると、右ボタンを使わずに計測をスタート、ストップできます。(図16)

オートモードのセット、解除のしかた

T、DまたはA表示にしてSETボタンを押すと、[AT] マークを表示しオートモードになります。SETボタンをもう一度押すと、[AT] マークが消え解除します。

車輪の回転を検知してスタート、ストップするので、停車すると計測は止ります。

オートモードにしてブラケットに装着した時、約2秒ほど走行時間がカウントすることがあります。

本器を自転車から外して心拍計として使用するときは、まずオートモードを解除し、スタート/ストップボタンの操作で計測を行ってください。



図16

4. 節電機能

約1時間、無信号状態が続くと電源がカットされ、(図17)のように [S] 表示だけのスリープ状態になります。車輪が回転して速度信号が入るか、左右のボタンのどちらかを押すと節電機能は解除され通常表示に戻ります。



図17



図18

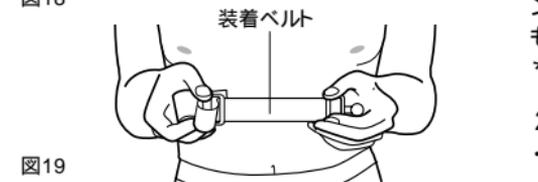


図19

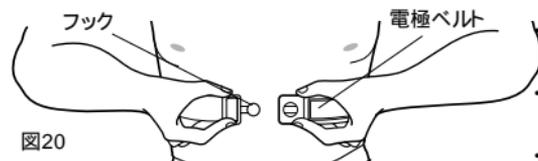


図20



図21

心拍数計測機能の使い方

心拍数計測機能は胸部にチェストベルト心拍センサーを装着したときに計測できます。ただ単に心拍数を計測するだけでなく、上限 / 下限心拍数を入力することで、ターゲットゾーンを設定したトレーニングを実践できます。

1. チェストベルト心拍センサーとは

チェストベルト心拍センサーは病院で使われる心電計の理論を応用し簡素化、小型化したものです。心電計では数個の電極を身体に貼り付け、その電位差により心電計測を行いますが、チェストベルト心拍センサーはベルトに内蔵された2個の電極を身体に当てることで電位差を感知し、その信号をトランスミッターでメインユニットへ送信し、表示することで、より簡単に心拍数を計測できるようにしたものです。(図18)

* メインユニット受信可能距離: 約80 cm

2. チェストベルト心拍センサーを装着する前に

- チェストベルト心拍センサーは胸の中央部分に装着します。また電極ベルトが肌に接触している必要があります。
計測ミスをなくすために、電極部分に水または心電計用の電解質クリームを塗ってから装着することをお勧めします。
- 皮膚の弱い方などは、薄いシャツの上からチェストベルトの電極部分を水で濡らして装着することも可能です。
- 胸毛が計測を妨害することもあります。

3. チェストベルト心拍センサーの装着

1. 胸周りに合わせて装着ベルトの長さを調節します。きつく閉め過ぎると計測中、苦痛になることがあります。(図19)
2. 胸の周りに装着ベルトのフックを電極ベルトに引っ掛けて装着します。ベルトの電極部分が身体に密着するようにします。(図20) シャツの上から装着するときは、電極部分を注意して濡らします。(図21)

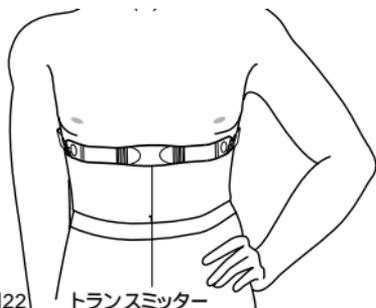


図22 トランスミッター

注意：冬場皮膚が乾燥しているときには、直接肌に装着した場合でも計測ミスを起こすことがあります。このようなときも電極部分を濡らします。

3. トランスミッターが胸の中心(アンダーバスト部)になるよう、ベルト全体をずらし調節します。(図22)
 4. メインユニットの節電機能が働いていないか確認します。もし節電機能が働いているときは左右どちらかのボタンを押します。
 5. メインユニットを身体の前にしたとき、♥マークが点滅し、心拍数を表示します。もしうまく計測できないときは、心拍センサーの装着位置を確認し、電極ベルトの電極部分を濡らせてもう一度トライしてください。
- * メインユニットでオートモードがオンのときは自転車に装着して走行しないと、平均心拍数は計測できません。



図23

4. 上限 / 下限心拍数は次の手順で設定します

左ボタンを押し、最高速度(M)表示にします。右ボタンでストップ状態にしてSETボタンを押すと上限 / 下限入力モードになります。(図23)初めは上段の上限心拍数が点滅します。右ボタンを押す毎に点滅する数字が+1し、左ボタンを押すと-します。押し続けると早送りします。希望の数字を表示します。SETボタンを押すと下段の下限心拍数が点滅します。上限と同様に入力します。SETボタンを押し、上限 / 下限心拍数の設定を終わめます。

* 上限 / 下限心拍数を設定すると、心拍数計測中、心拍数がその範囲から外れたときにアラームマークが点滅します。(図24)



図24 上限をオーバー 下限よりマイナス

計測と表示の機能



S 走行速度

常に速度ディスプレイに表示し、1秒毎に更新します。

0.0(4.0) ~ 105.9 km/h [0.0(3.0) ~ 65.9 mile/h]



○ 積算距離

電池がなくなるまで積算し続けます。10000 km [mile]で桁が変わります。リセットできません。
0.0 ~ 99999 km(mile)



M 最高速度

瞬間最高速度を表示します。リセット操作でゼロに戻ります。
0.0(4.0) ~ 105.9 km/h [0.0(3.0) ~ 65.9 mile/h]



A 平均速度

計測開始から現時点までの平均速度を表示します。リセット操作でゼロに戻ります。27時間46分39秒が999.99km [mile]をこえると(.E)を表示し、計測できません。
0.0 ~ 105.9 km/h [0.0 ~ 65.9 mile/h]



D 走行距離

計測開始から現時点までの走行距離を表示します。リセット操作でゼロに戻ります。
0.00 ~ 999.99 km [mile]



T 走行時間

計測開始から現時点までの経過時間を時、分、秒で表示します。リセット操作でゼロに戻ります。
0:00'00" ~ 9:59'59"



12 時間時計

現在時刻を12時間表示で表示します。



CAL 消費カロリー

心拍センサーを装着したときに、計測開始から現時点までの消費カロリーを推定し表示します。リセット操作でゼロに戻ります。
0.0 ~ 9999.9 kcal



HR 心拍数

心拍センサーを装着したときに、走行中の心拍数をリアルタイムで表示します。
0(30) ~ 199 bpm
200 bpmを越えた場合は100の位が表示されません。



AP 平均心拍数

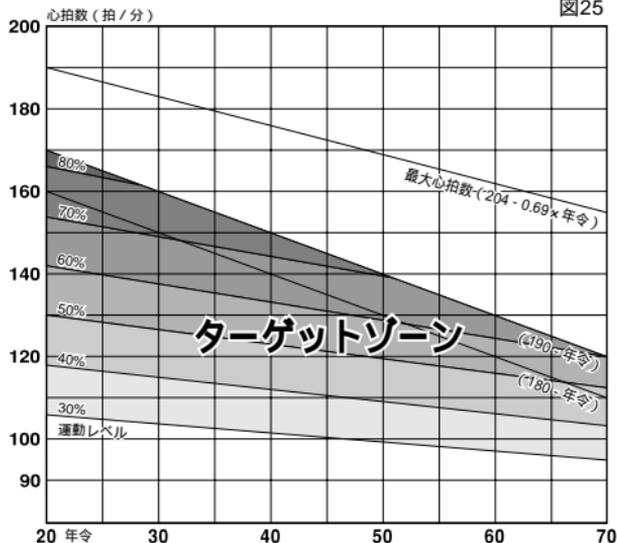
心拍センサーを装着したときに、計測開始から現時点までの平均心拍数を表示します。リセット操作でゼロに戻ります。
0 ~ 199 bpm

心拍数管理によるトレーニング

人の心拍数は一般に運動により高くなります。同一人についていうならば、運動レベルと心拍数はほぼ比例関係にあり、心拍数は運動レベルの大変よい指標です。したがって心拍数を設定してその心拍数を維持するように運動するトレーニング方法は科学的なトレーニング方法であり、一般の人の健康増進から一流選手のトレーニングまで広く応用できます。なお、トレーニングを開始する前に医師または専門トレーナーへの相談をおすすめします。

1. 一般の健康増進のためのトレーニング

自転車による運動を通じて健康増進をはかる目的のトレーニングは、あなたの体力に応じて運動レベル30%から70%位までの間で目標心拍数（ターゲットゾーン）を決め、週に3回以上、1回20分以上、出来れば30分以上実施してください。運動レベルと心拍数の関係は(図25)を参考に目標心拍数を求めてご利用ください。初心者は30%前後の運動レベルからトレーニングをはじめ、慣れてきたら段々強くしていきます。70%位の運動レベルでトレーニングできるようになれば充分です。肥満対策のトレーニングとしては、比較的弱い強度レベルの目標心拍数で出来るだけ長時間、できれば1時間以上実施してください。



2. 選手のためのトレーニング

出来るだけ実際のあなたの安静心拍数、最大心拍数を求めて所要の運動レベルに応じた目標心拍数の範囲(ターゲットゾーン)を決め、トレーニングを行ないます。

A 長期持久力向上のためのトレーニング

数日間にわたってのレース等、持久力向上トレーニング
運動レベル 60～70% 有酸素運動

B 2時間程度の持久力の向上のためのトレーニング

運動レベル 70%～80% 有酸素運動

C 40秒程度持続出来るフルパワー向上のトレーニング

運動レベル 85%以上 無酸素運動

D 数秒間持続できる瞬発力の向上のためのトレーニング

運動レベル 95%以上 無酸素運動

$$\text{運動レベル(\%)} = \frac{\text{目標心拍数} - \text{安静心拍数}}{\text{最大心拍数} - \text{安静心拍数}} \times 100$$

$$\text{目標心拍数} = (\text{最大心拍数} - \text{安静心拍数}) \times \frac{\text{運動レベル(\%)}}{100} + \text{安静心拍数}$$

・安静心拍数の求め方

例えば朝目覚めたときの心拍数のように、安静状態にあるときのあなたの心拍数を求めます。

・最大心拍数の求め方

求める方法は色々ありますが、標準値として「220 - 年令」または「204 - 0.69 x 年令」の計算で代用できます。

心拍トレーニングに関する文献が数多く出版されていますので、それらを参考にすることを薦めます。

トラブルと処理

つぎの場合は故障ではありません。修理を依頼する前にチェックしましょう。

速度表示がでないとき、まずメインユニット裏面の2つの接点を金属片で数回ショートさせます。速度表示がでた場合は、メインユニットは正常で他に原因があります。

心拍数の計測値がおかしいときは、周りに計測を妨害するものがないかまず確認してください。

トラブル / チェック項目 / 対策

表示の動きが鈍くなる。

低温(0以下)になっていませんか?

温度が上がれば元に戻ります。データに影響はありません。

全く表示がでない。

電池が消耗していませんか?

新しい電池(CR2032)と交換します。(交換後は必ずACボタンを押し再設定します)

異常な表示がでる。

ACボタンを押し、再設定をします。

走行速度表示がでない。

本体あるいはブラケットの接点に何か付いていませんか?

接点を拭きます。

速度センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?

速度センサーとマグネットの指示線がずれていませんか?

速度センサーとマグネットの位置を調整します。

走行速度表示がでない。

コードが断線していませんか?

センサーコードセットを新しい物と交換します。

降雨時、走行中にスピードを表示しなくなる。

ブラケットの接点の水分とゴミを良くふき取り、撥水剤(シリコングリス)を塗布してください。

撥水剤はホームセンターなどで手に入るシリコングリスをご使用ください。一般の機械用グリスはブラケットが破損する恐れがありますので使わないでください。

右ボタンを押しても計測をスタート、ストップしない。

[AT]マークが表示されていませんか?

オートモードの時は右ボタンは働きません。

心拍信号を受信しない。

節電機能が働きスリープ状態になっていませんか?

左右どちらかのボタンを押し、節電機能を解除します。

心拍センサーの装着位置は正しいですか?

装着の手順に従い正しい位置に装着します。

心拍センサーの装着がゆるすぎませんか？
ベルトの電極部分が身体に密着するように装着します。

皮膚が乾燥していませんか？(特に冬場)
心拍センサー電極ベルトの電極部分を少し濡らします。

心拍センサーの電池が消耗していませんか？
新しい電池と交換します。

電極ベルトが長期間の使用で劣化損傷していませんか？
新しい電極ベルトと交換します。

心拍数表示が0になったり計測されたりする。

心拍センサーの装着位置は正しいですか？
装着の手順に従い、正しい位置に装着します。

メインユニットから体を遠ざけると0になり、近付けると計測しませんか？
この場合は電池が消耗しています。新しい電池と交換します。

電池の交換

購入時にはモニター用電池が装着済みです。電池の寿命がきたら次の手順で交換します。
注意: 取り出した電池は幼児の手の届かないところに置き、正しく処理してください。万一飲み込んだ時はすぐに医者と相談してください。

1. メインユニット

参考電池寿命: 1日1時間使用した場合 約2年

メインユニット裏面のバッテリーカバーをコイン等で外します。(図26) リチウム電池 (CR2032) を1個使用します。図のように + 側が見えるように入れ、バッテリーカバーをしっかりと締めます。

交換後は必ずACボタンを押し、全ての設定を再度行います。

2. チェストベルト心拍センサー

参考電池寿命: 1日1時間身体に装着した場合 約3年

注意: チェストベルト心拍センサーは身体に装着すると電源を消費します。心拍計測を行わないときは、外すように心掛けましょう。

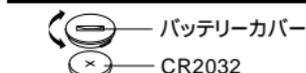


図26

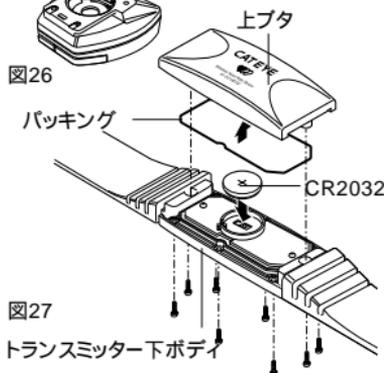


図27

トランスミッター下ボディ

1. トランスミッター裏面のネジ8本を外し、上ブタを開けます。(図27)
2. 新しい電池 (CR2032)を + 側が見えるように入れ、上ブタにパッキングをはめてから下ボディに被せ、ネジでしっかり締め付けます。
注意: パッキングが正しくはまっていないと防水能力が極端に低下します。

電極ベルトの交換

長期間の使用で電極ベルトは劣化します。計測ミスを起こすときは次の手順で電極ベルトを交換してください。

1. トランスミッター裏面のネジ8本を外し、上ブタを開けます。(図28)
2. トランスミッターの左右にはまっている電極ベルトを上方へ抜いて外します。
3. 新しい電極ベルトを、電極部分を下向きにしてトランスミッターにはめ込みます。
4. 上ブタにパッキングをはめてから下ボディに被せ、ネジでしっかり締め付けます。
注意: パッキングが正しくはまっていないと防水能力が極端に低下します。

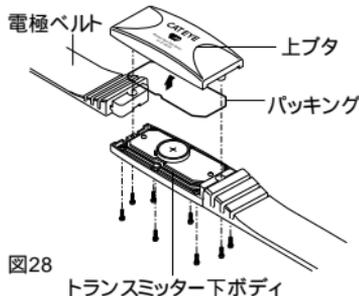
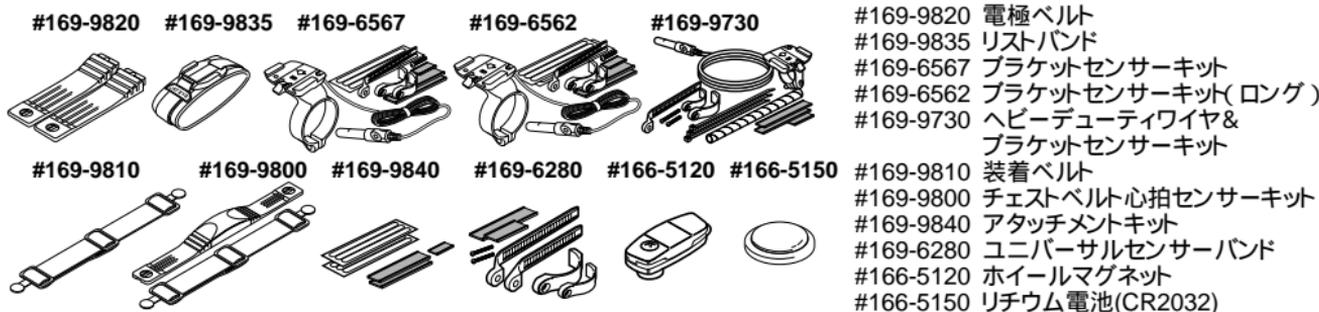


図28

交換部品 / オプション部品

次の部品を別途販売しています。ご利用ください。



製品仕様

表示機能	マーク	範囲	標準精度
走行速度	S	0.0(4.0) ~ 105.9 km/h (27インチの時) [0.0(3.0) ~ 65.9 mile/h]	± 0.5 km/h(50km/h以下)
積算距離	O	0.0 ~ 99999 km [mile]	± 0.1 km [mile]
最高速度	M	0.0(4.0) ~ 105.9 km/h (27インチの時) [0.0(3.0) ~ 65.9 mile/h]	± 0.5 km/h
平均速度	A	0.0 ~ 105.9 km/h [65.9 mile/h]	± 0.3 km/h [mile/h]
走行距離	D	0.00 ~ 999.99 km [mile]	± 0.01 km [mile]
走行時間	T	0:00'00" ~ 9:59'59"	± 0.003 %
12時間時計		0:00' ~ 11:59'	± 0.003 %
平均心拍数	A P	0 ~ 199 bpm	± 1 bpm
心拍数	HR	0(30) ~ 199 bpm	± 1 bpm
消費カロリー	C A L	0.0 ~ 9999.9 kca(心拍数が90bpm以上の時)	推定値
制御方式		200 bpmを越えた場合100の位は表示せず 4ビットワンチップマイクロコンピュータ・水晶発振器	
表示方式		液晶表示	
速度信号検知方式		無接触磁気センサー	
心拍信号送受信方式		電磁誘導ラジオシステム(ダブルパルス方式) 送信距離: 約80 cm	
使用温度範囲		0°C ~ 40°C(32°F ~ 104°F)	
保存温度範囲		- 20°C ~ 50°C(- 4°F ~ 122°F)	
タイヤ周長セット範囲		10 mm ~ 3000 mm (初期設定値: 2155 mm)	
センサーコード長さ		70 cm	
上限脈拍数セット範囲		下限脈拍数 ~ 199 bpm (初期設定値: 180 bpm)	
下限脈拍数セット範囲		0 bpm ~ 上限脈拍数 (初期設定値: 0 bpm)	
電源 / 電源寿命		*モニター用電池は下記値より若干短くなることがあります メインユニット: CR2032 x 1 / 約2年(1日1時間使用時) 心拍センサー: CR2032 x 1 / 約3年(1日1時間身体に装着時)	
寸法 / 重量		メインユニット: 48.3 x 45.6 x 21.5 mm / 33 グラム 心拍センサー: 330 x 36.5 x 13.5 mm / 66 グラム	

*仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

タイヤ周長ガイド

* タイヤサイズは通常タイヤの側面に記載されています。

タイヤサイズ	L(mm)	タイヤサイズ	L(mm)	タイヤサイズ	L(mm)	タイヤサイズ	L(mm)
16 x 1-3/8	1282	26 x 1.25	1953	26 x 2.35	2083	700 X 23C	2096
20 x 1.75	1491	26 x 1-1/8 Tubular	1970	27 x 1	2145	700 X 25C	2105
24 x 1	1753	26 x 1-3/8	2068	27 x 1-1/8	2155	700 X 28C	2136
24 x 3/4 Tubular	1785	26 x 1-1/2	2100	27 x 1-1/4	2161	700 X 30C	2170
24 x 1-1/8 Tubular	1795	26 x 1.40	2005	27 x 1-3/8	2169	700 X 32C	2155
24 x 1-1/4	1905	26 x 1.50	1985	650 x 35A	2090	700C Tubular	2130
24 x 1.75	1890	26 x 1.75	2023	650 x 38A	2125	700 X 35C	2168
24 x 2.00	1925	26 x 1.95	2050	650 x 38B	2105	700 X 38C	2180
24 x 2.125	1965	26 x 2.00	2055	700 x 18C	2070	700 X 44C	2224
26 x 1(559mm)	1913	26 x 2.1	2068	700 x 19C	2090		
26 x 1(650c)	1952	26 x 2.125	2070	700 X 20C	2086		

販売店:

製造 / 販売元:



株式会社 キャットアイ

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2-8-25
TEL: 06-6719-6863 FAX: 06-6719-6033

Copyright© JUL. 1994
CAT EYE Co., Ltd.
CCMJHB1-981119
Printed in Japan

U.S. Pat. Nos. 4633216/4636769/4642606/5236759/5226340 and Design Patented.